

2019年12月期 第2四半期  
**決算説明資料**

株式会社オロ 証券コード：3983

2019年8月9日



# 目次

**01 2019年12月期 第2四半期 決算概要**

**02 事業の状況**

**03 参考資料**



**2019年12月期 第2四半期  
決算概要**

# 業績ハイライト

## 2019年12月期 第2四半期 決算概要

売上高	2,299百万円	前年同期比 <b>3.5%増</b>
営業利益	544百万円	前年同期比 <b>19.2%減</b>

前年同期に比べ、売上高は順調に推移しました。  
一方、営業利益については、デジタルトランスフォーメーション事業が伸び悩み、減益となりました。

### クラウドソリューション(CS)事業

売上高	1,303百万円	前年同期比 <b>8.9%増</b>
営業利益	565百万円	前年同期比 <b>15.5%増</b>

新規顧客の獲得・既存顧客との取引拡大により、  
売上高・営業利益ともに順調に推移しました。

### デジタルトランスフォーメーション(DX)事業

売上高	996百万円	前年同期比 <b>2.8%減</b>
営業損失(△)	△21百万円	

売上高は減少し、人材投資による人件費増加等により、  
営業損失となりました。

## デジタルトランスフォーメーション事業 営業損失の要因について

デジタルトランスフォーメーション(DX)事業は、2019年度第1四半期より事業名称を変更し、その業務領域を「デジタルマーケティング支援」から「デジタルクリエイティブを通じたビジネス革新」へ広げる取り組みを進めております。上期については、IT人材の獲得競争が激しさを増す中で新たなサービス・提供価値を生み出すために、人材に対する投資を積極的に進めてまいりました。

前年同期比に対する営業利益の変動要因は下記のとおりです。

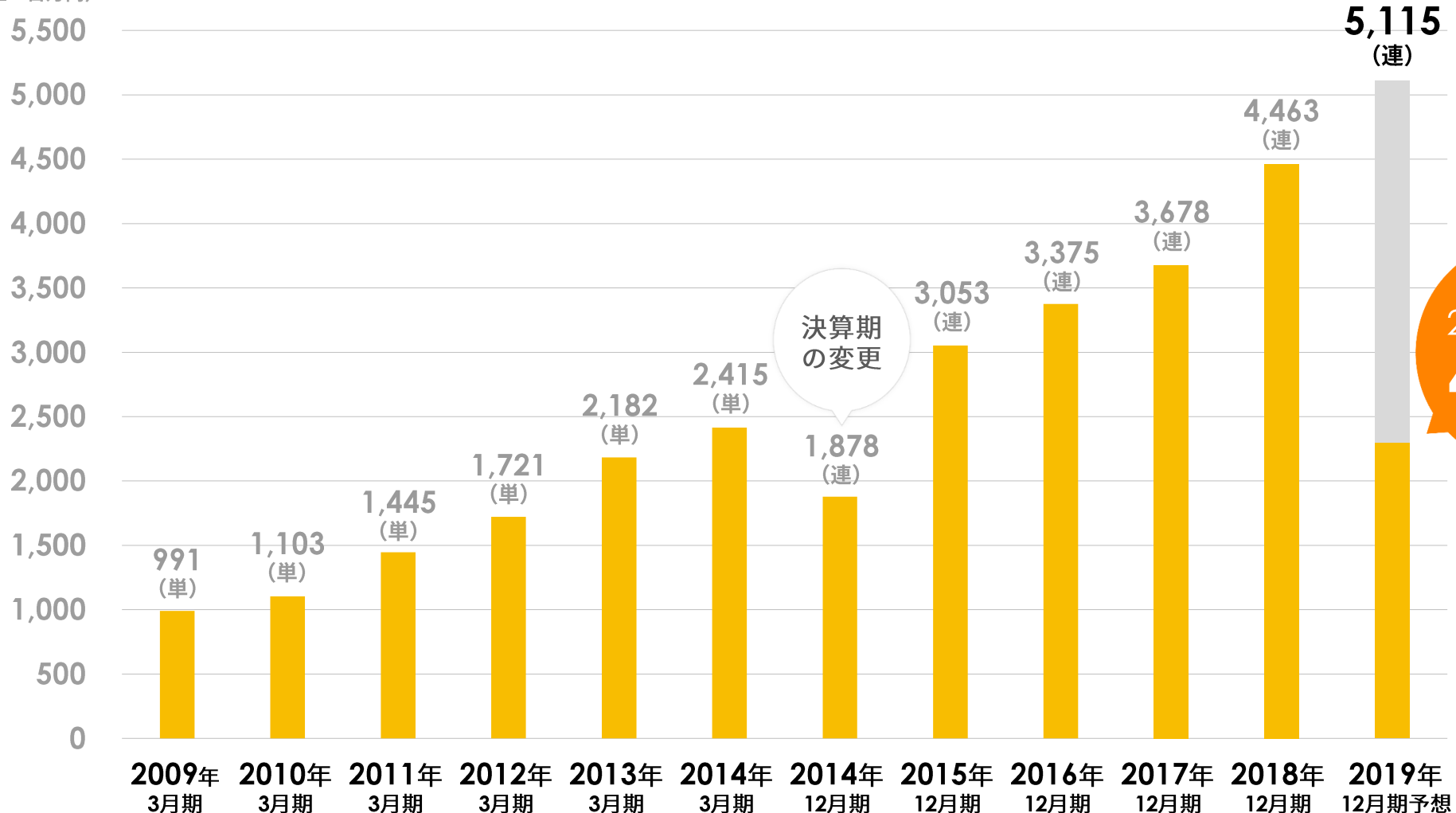
- ・ 人件費・採用費の増加121百万円  
(新たな社員の獲得、賃金のベースアップ)
- ・ 不採算案件による受注損失引当金の増加27百万円
- ・ その他費用の増加28百万円

売上高が当初の計画に及ばなかった点について、下期は既存顧客との接点を見直し、投資に見合う成果を出すべく体制変更を進めてまいります。

# 売上高推移

前年同期比 3.5%増の22.99億円、業績予想に対して軟調に推移

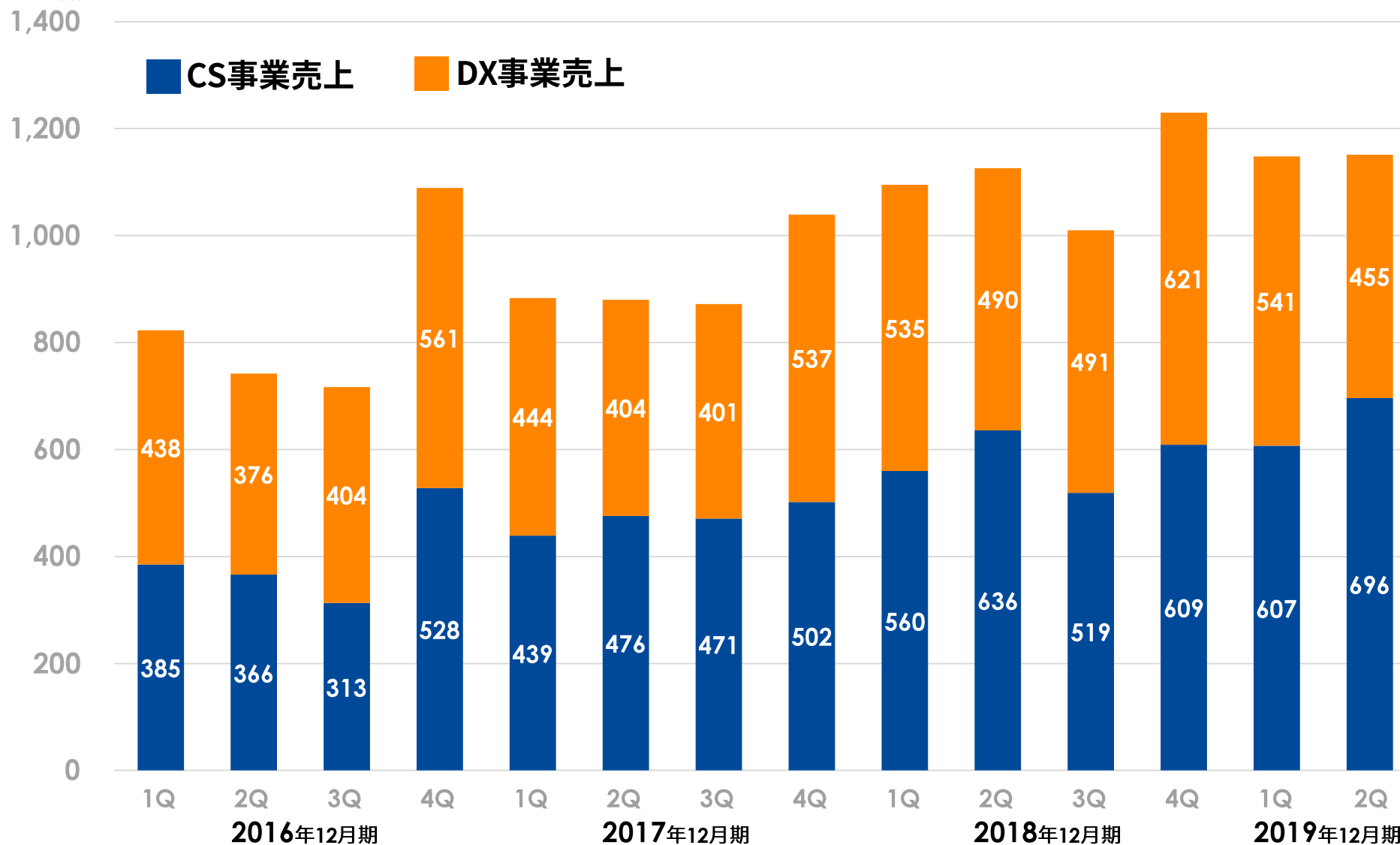
(単位：百万円)



2Q 進捗率  
44.9%

# 四半期売上高推移

(単位：百万円)



※CS事業：クラウドソリューション事業（旧ビジネスソリューション事業）

※DX事業：デジタルトランスフォーメーション事業（旧コミュニケーションデザイン事業）

※2018年12月期より、デジタルトランスフォーメーション事業（旧コミュニケーションデザイン事業）の売上高の計上方法を総額表示から純額表示に変更しております。  
この変更に伴い、2017年12月期の売上高については遡及適用後の金額（純額表示）を記載しております。

# セグメント別売上構成 クラウドソリューション事業

(単位：百万円)

800

■ 新規顧客 ■ 既存顧客スポット ■ 既存顧客ストック

700

600

500

400

300

200

100

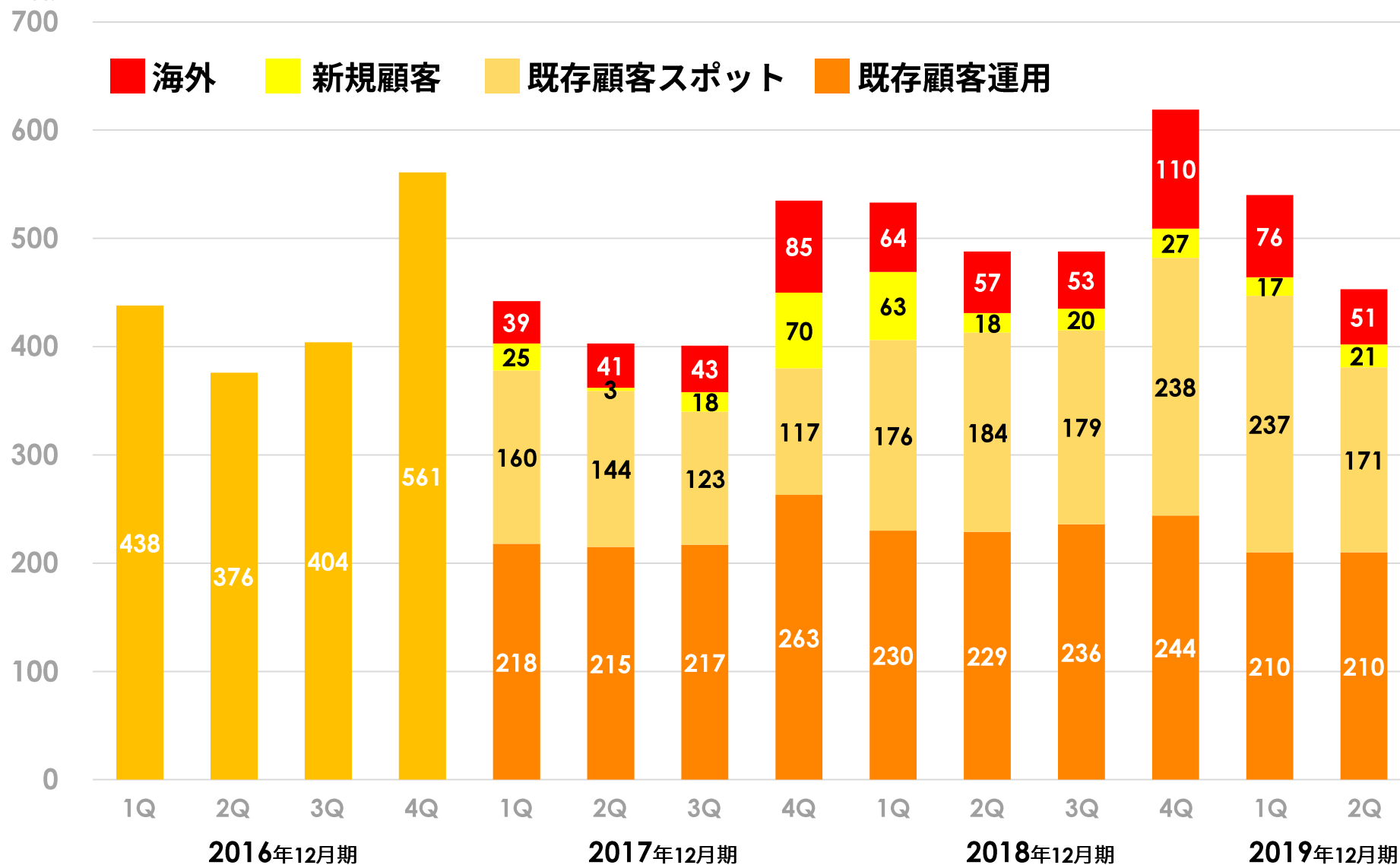
0





# セグメント別売上構成 デジタルトランスフォーメーション事業

(単位：百万円)



# 通期業績予想に対する進捗

通期予想に対し売上高は軟調、営業利益は堅調に推移

(単位：百万円)

	2019年12月期 通期予想	2019年12月期 2Q実績	進捗率
売上高	5,115	2,299	45.0 %
クラウドソリューション事業	2,801	1,303	46.5 %
デジタルトランスフォーメーション事業	2,313	996	43.1 %
営業利益	1,308	544	41.6 %
経常利益	1,325	543	41.0 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	907	359	39.6 %

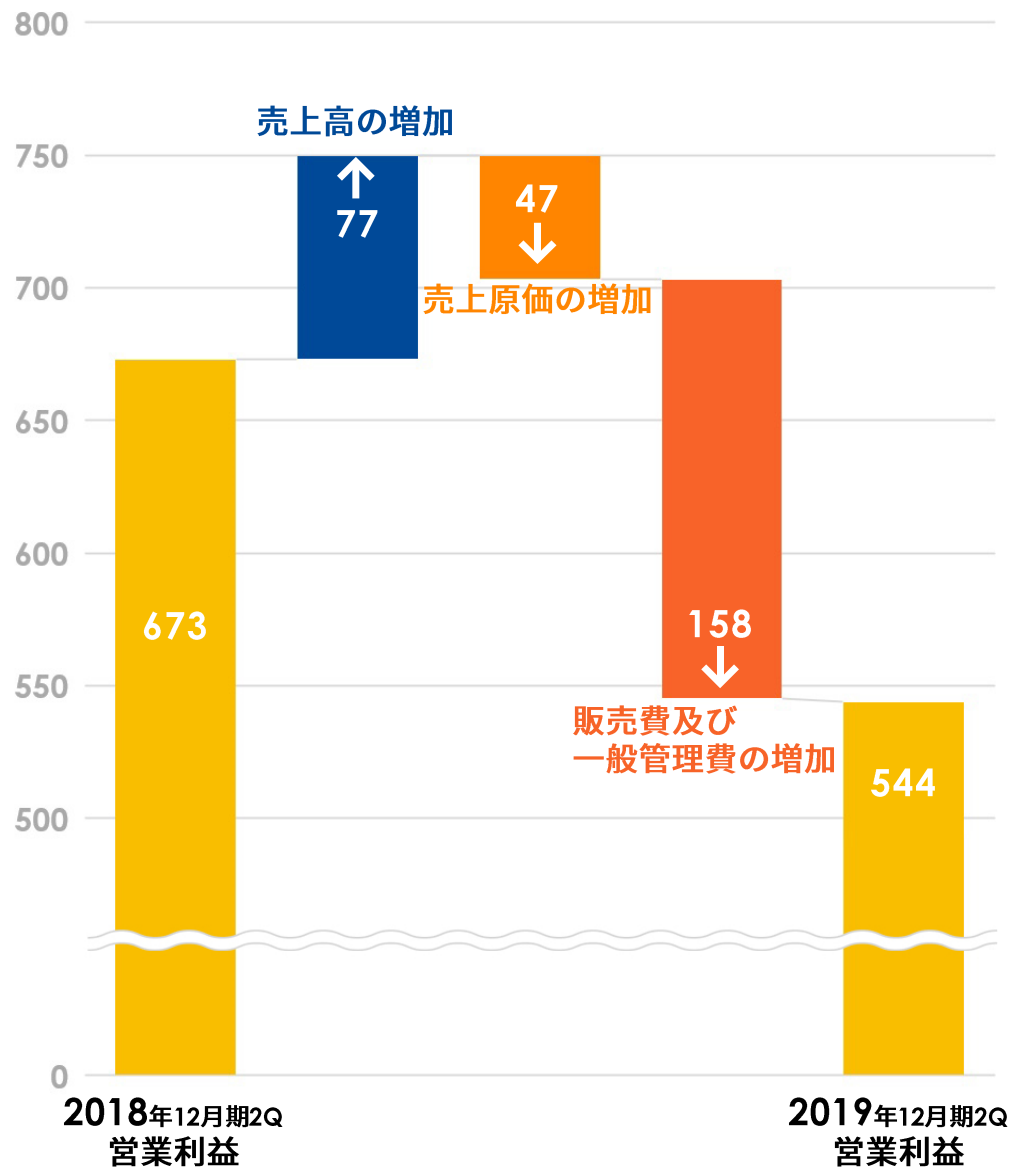
# 損益計算書（前年同期比）

（単位：百万円）

	2019年12月期2Q (構成比)	2018年12月期2Q (構成比)	増減額	主な要因
売上高	<b>2,299</b> (100.0%)	<b>2,222</b> (100.0%)	<b>77</b>	
売上原価	<b>1,006</b> (43.8%)	<b>958</b> (43.1%)	<b>47</b>	エンジニア人員の増加及び平均賃金・賞与の増加等
売上総利益	<b>1,293</b> (56.2%)	<b>1,263</b> (56.9%)	<b>29</b>	
販管費	<b>748</b> (32.5%)	<b>589</b> (26.5%)	<b>158</b>	営業・管理系人員の増加及び平均賃金・賞与の増加、採用費の増加等
営業利益	<b>544</b> (23.7%)	<b>673</b> (30.3%)	△ <b>129</b>	
経常利益	<b>543</b> (23.6%)	<b>657</b> (29.6%)	△ <b>113</b>	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>359</b> (15.6%)	<b>446</b> (20.1%)	△ <b>87</b>	

# 営業利益の変動要因（前年同期比）

（単位：百万円）



（単位：百万円）

主な要因	金額
<b>↑ 売上高の増加</b>	<b>77</b>
クラウドソリューション事業	106
デジタルトランスフォーメーション事業	△29
<b>↓ 売上原価の増加</b>	<b>47</b>
エンジニア人員の増加及び平均賃金・賞与の増加等	61
その他売上原価の増減	△14
<b>↓ 販売費及び一般管理費の増加</b>	<b>158</b>
営業・管理系人員の増加及び平均賃金・賞与の増加等	87
採用費の増加	18
その他販売費及び一般管理費の増減	53

# 貸借対照表（前期末比）

- ① 現金及び預金の増加
- ② 法人税納付による未払法人税等の減少
- ③ 親会社株主に帰属する四半期純利益の増加

（単位：百万円）

科目名	2019年 12月期2Q	2018年 12月期	増減額
流動資産	① 6,343	6,222	121
固定資産	426	415	11
有形固定資産	104	107	△3
無形固定資産	89	106	△17
投資その他資産	232	201	31
資産合計	6,770	6,637	132

科目名	2019年 12月期2Q	2018年 12月期	増減額
流動負債	② 1,150	1,243	△92
負債合計	1,150	1,243	△92
純資産	5,619	5,394	225
株主資本	③ 5,628	5,393	234
その他の 包括利益累計額	△8	0	△9
負債純資産合計	6,770	6,637	132

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表についても組替え行っており、流動資産の区分に表示していた繰延税金資産81百万円を投資その他の資産の区分に組み替えております。

02

事業の状況

# 事業セグメント

## クラウドソリューション事業

 ZAC  reforma の開発・提供

### クラウドERPによる経営管理支援

- 業務オペレーションの効率化
- プロジェクト管理レベルの向上
- 管理会計にもとづく的確な経営判断

## デジタルトランスフォーメーション事業

デジタル戦略立案、デジタル化支援、クリエイティブ

### デジタルを基軸にしたビジネス支援

- 企業活動のデジタル戦略立案
- マーケティング活動のデジタル化を促進
- グローバルビジネスを加速

クラウドソリューション事業

## 新製品「ZAC」販売開始

2019年8月より新製品「ZAC」を販売開始しました。

「ZAC」では自動アップデートにより、常に最新環境が利用可能となります。

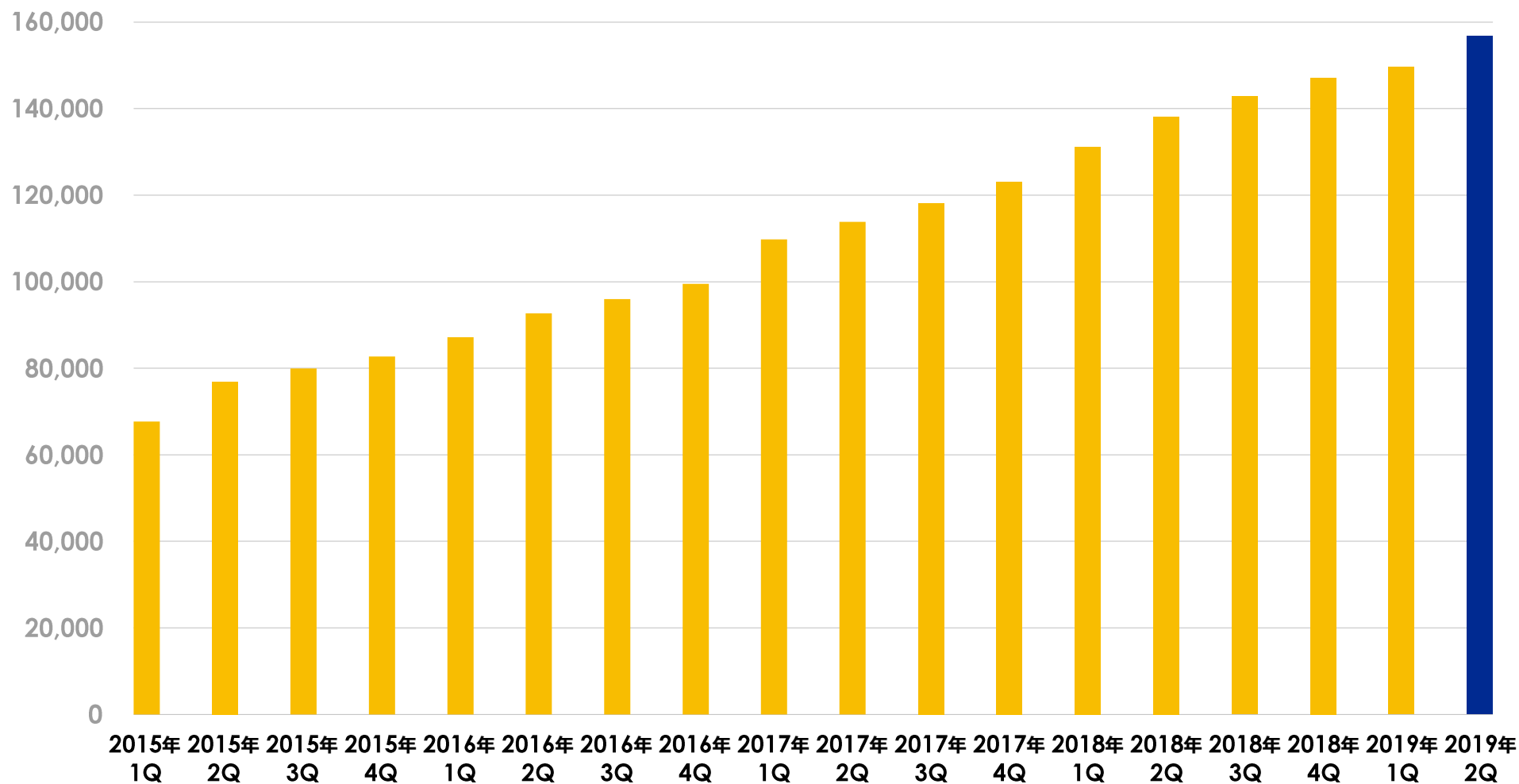
※専用パラメータの自由設定を行うクライアントには、これまで通り「ZAC Enterprise」を提供します。





# 「ZAC」「ZAC Enterprise」稼働ライセンス数推移

新規顧客の獲得・既存顧客との取引拡大により堅調に増加

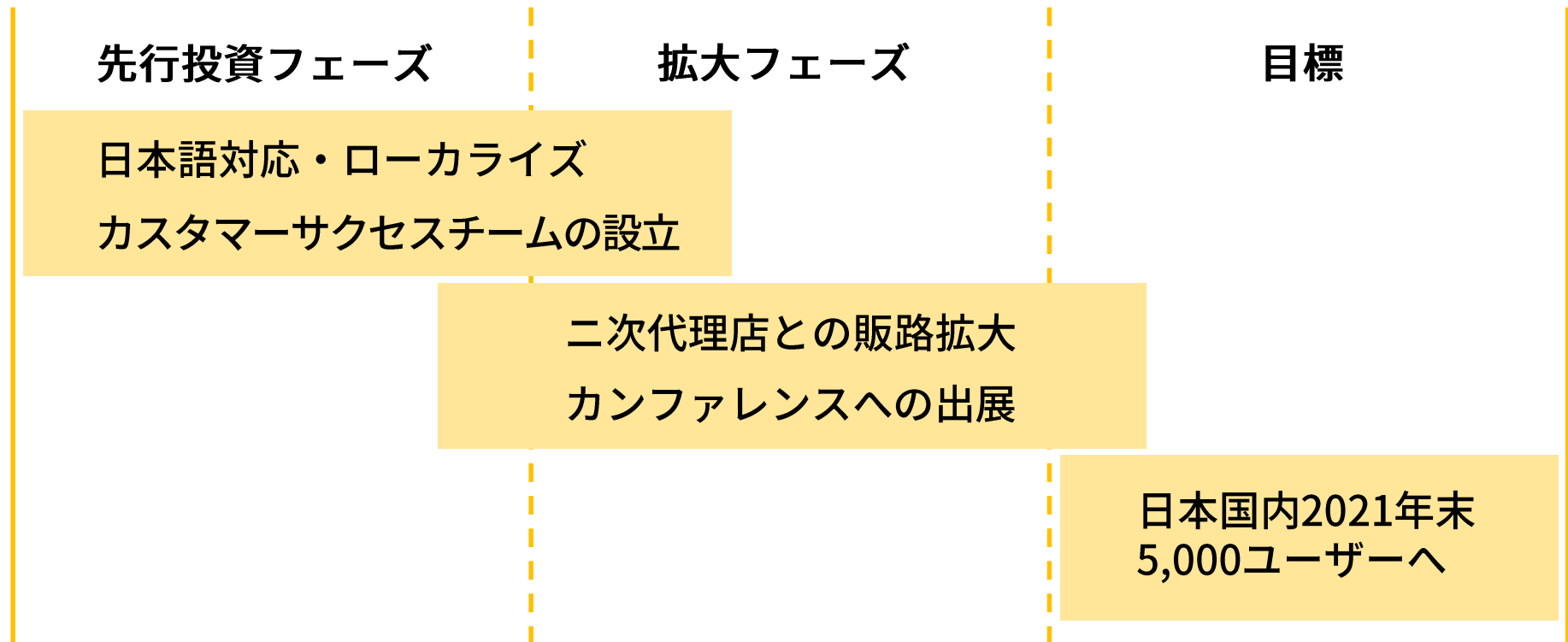


## デジタルトランスフォーメーション事業 SEMrush事業展開

SEMrushは、全世界400万人のユーザーを持つ世界最大級のデジタルマーケティングツールです。

2018年12月、オロが日本国内での独占販売を開始しました。

現在の先行投資フェーズから、5,000ユーザー突破を目指します。



**03**

---

**參考資料**

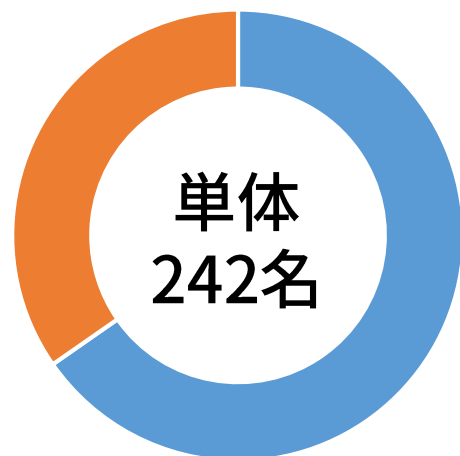
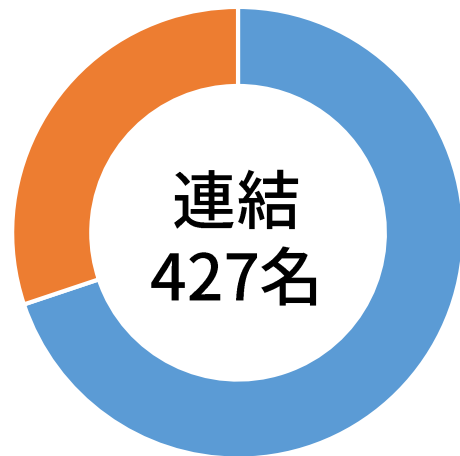
# 会社概要

会社名	株式会社オロ
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード：3983）
代表者	代表取締役社長 川田 篤
創業	1999年1月20日
本社所在地	東京都目黒区目黒3-9-1 目黒須田ビル
資本金	1,185百万円
事業内容	クラウドソリューション事業 ・クラウドERP「ZAC」の開発・販売 デジタルトランスフォーメーション事業 ・デジタルを基軸にしたビジネス支援
従業員数	単体242人／連結427人（2019年6月30日現在）
拠点	東京本社 西日本支社 中部支社 北海道支社 福岡支社
グループ会社	株式会社オロ宮崎 株式会社oRo code MOC 欧楽科技(大連)有限公司 大連奥楽広告有限公司 台湾奥楽股分有限公司 oRo Malaysia Sdn. Bhd. oRo Vietnam Co., Ltd. oRo (Thailand) Co., Ltd. oRo Digital Asia Pte. Ltd. oRo Digital Asia Sdn. Bhd.

# ものづくり人材を中心とした「組織構成」

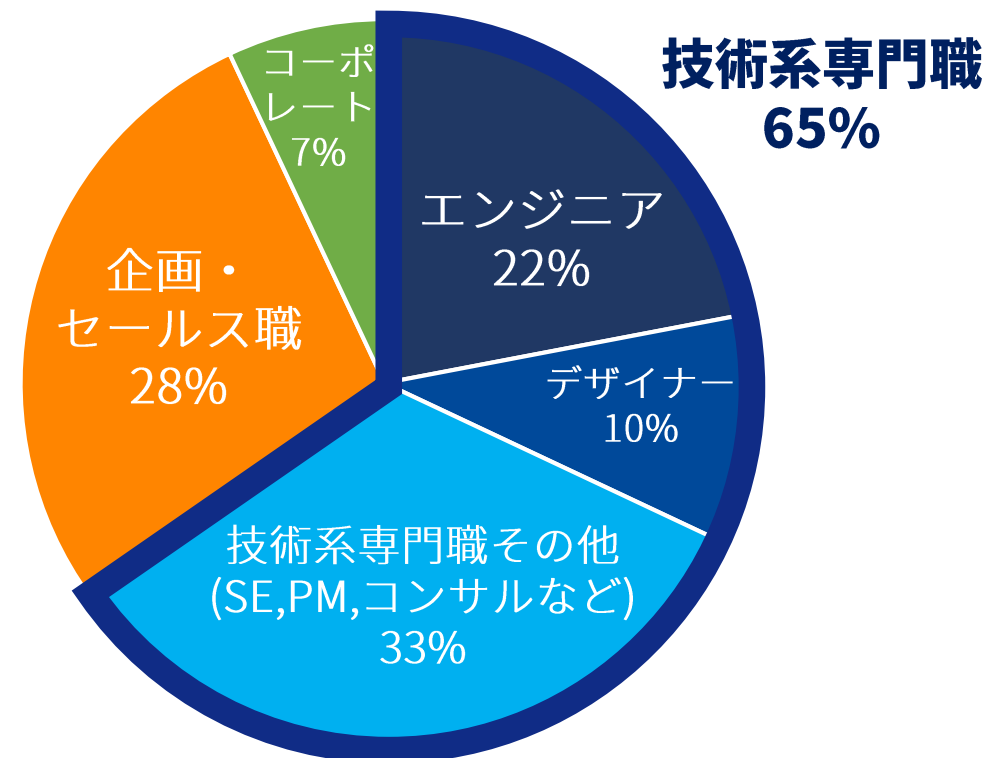
“Technology × Creative”でソリューションを生み出す組織構成

製販比率 ■ 製造 ■ 販管



(2019年6月末時点)

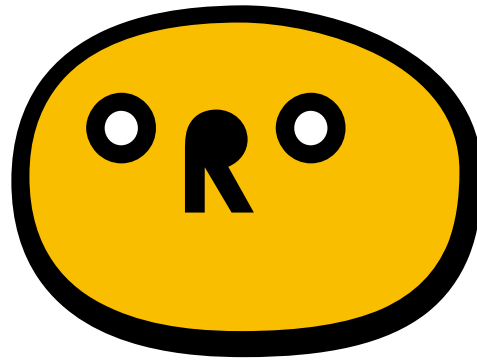
職種比率 (オロ単体)



- 専門職(エンジニア)
- 専門職(デザイナー)
- 専門職その他
- 企画・セールス職
- コーポレート

(2019年6月末時点)

# 経営理念



社員全員が世界に誇れる物（組織・製品・サービス）を創造し、  
より多くの人々（同僚・家族・取引先・株主・社会）に対して  
より多くの「幸せ・喜び」を提供する企業となる。  
そのための努力を通じて社員全員の自己実現を達成する。

# 沿革

## GLOBAL

oRo Digital Asia Pte. Ltd. (旧: Crossfinity Digital Asia Pte. Ltd.) 子会社化  
oRo Digital Asia Sdn. Bhd. (旧: Crossfinity Digital Asia Sdn. Bhd.) 子会社化



## JAPAN

# クラウドソリューション事業 クラウドERP「ZAC」

## 「ZAC」とは

ウェブブラウザを通じてプロジェクト収支から組織全体の利益管理ができるクラウドERPパッケージ



業務効率化と的確な経営判断を  
支援し、企業の生産性向上に貢献

情報の  
一元管理

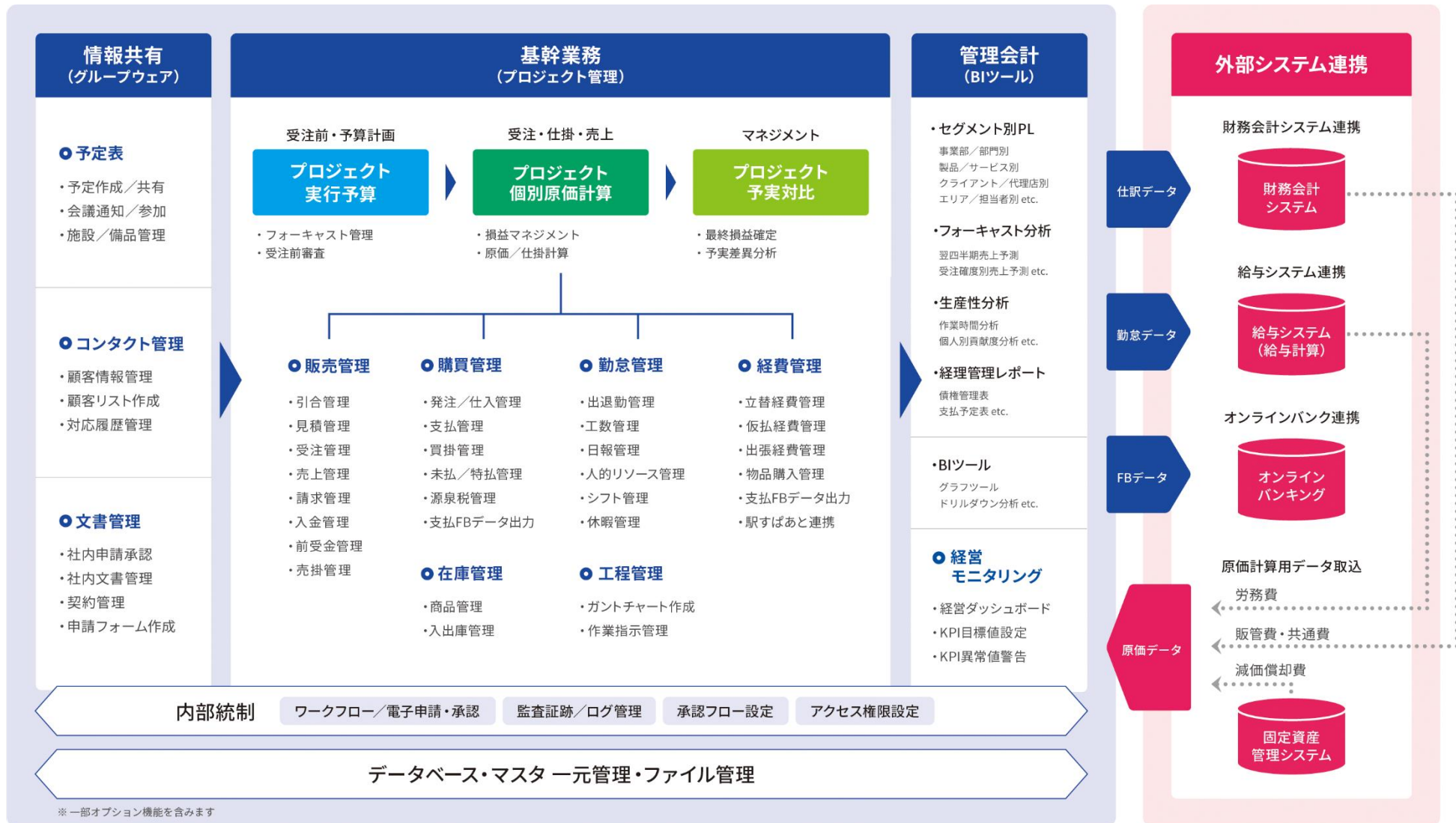
全体最適  
システム

管理会計  
の実践



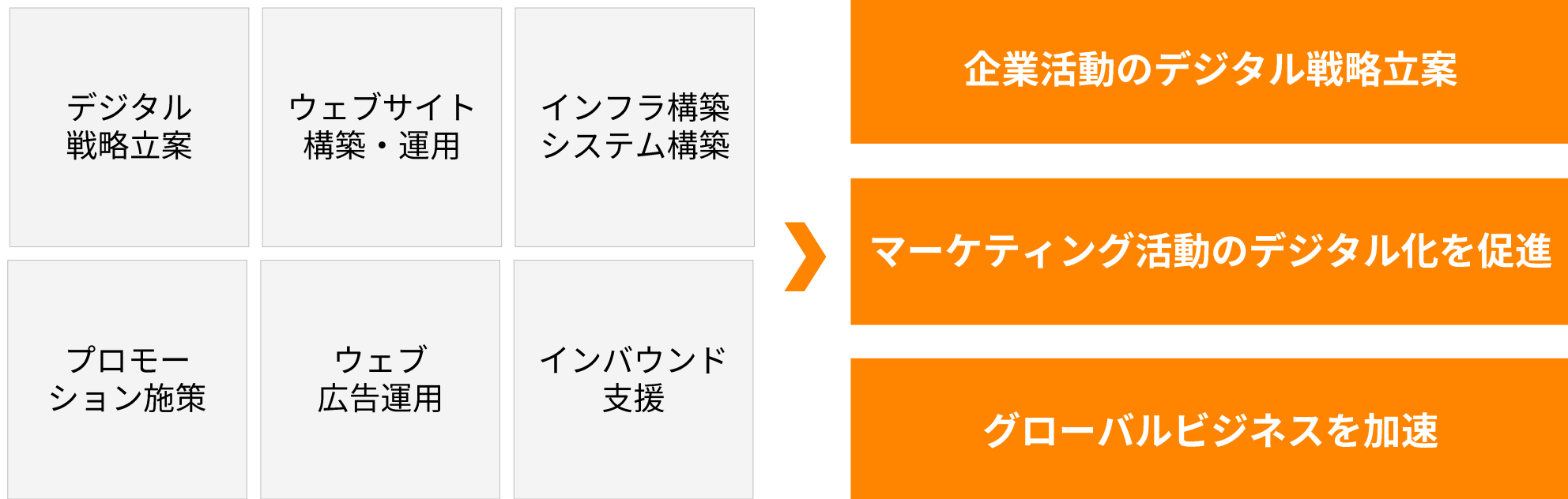


# クラウドソリューション事業 「ZAC」の機能



デジタルトランスフォーメーション事業  
デジタルを基軸にしたビジネス支援

企業のビジネスパートナーとしてフルサービスを提供



# デジタルトランスフォーメーション事業 事業の強み

- **ワンストップフルサービス**  
企業の成長に「深く」「長く」関われる体制を構築
- **信頼性の高いシステム開発力**  
クラウドERPの自社開発による裏付け
- **戦略的コストマネジメント**  
収益性の高い内製体制の確立
- **インバウンド需要、海外戦略への対応力**  
国内7拠点、海外は中国・台湾・ASEANに9拠点

# 本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

